

## 〈6〉 固定的性別役割分担意識について

### 結果のポイント

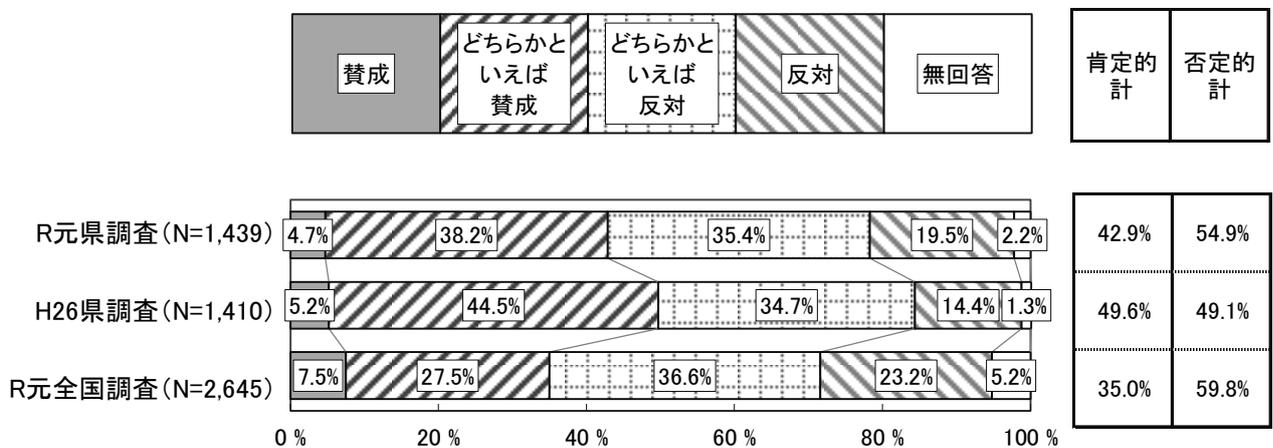
- 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という固定的性別役割分担意識に肯定的な人の割合は42.9%で、前回調査よりも6.7ポイント減少したが、全国に比べて7.9ポイント高い
- 固定的性別役割分担意識に否定的なのは、男女別・年代別すべての中で1位が女性の20歳代で71.2%、2位が男性の20歳代で69.7%。これは、前回調査と比べると、いずれも15ポイント以上否定的な人の割合が増加した（P33）

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、肯定的な人の割合（「賛成」、「どちらかといえば賛成」の計）は42.9%、否定的な人の割合（「反対」、「どちらかといえば反対」の計）は54.9%である。また、肯定的な人（42.9%）の割合は、前回調査（49.6%）と比較すると6.7ポイント減少したものの、全国調査（35.0%）と比較すると7.9ポイント高くなっている。

否定的な人の割合は、男女別・年代別すべての中で女性の20歳代が最も高く（71.2%）、次いで男性の20歳代（69.7%）となっており、前回調査と比べると、女性の20歳代では15.3ポイント、男性の20歳代では16.5ポイント増加した。

男女別に肯定的な人の割合をみると、男性は女性より12.7ポイント高い（男性51.1%、女性38.4%）。女性は前回調査（48.2%）から9.8ポイント減少したのに対し、男性は前回調査（51.8%）との差がほとんどなかった。さらに、男女別・年代別に見ると、女性は20歳代から50歳代のすべての年代で、肯定的な人の割合が前回と比べて10ポイント以上減少し、男性は20歳代と40歳代で肯定的な人の割合が前回と比べて10ポイント以上減少した。

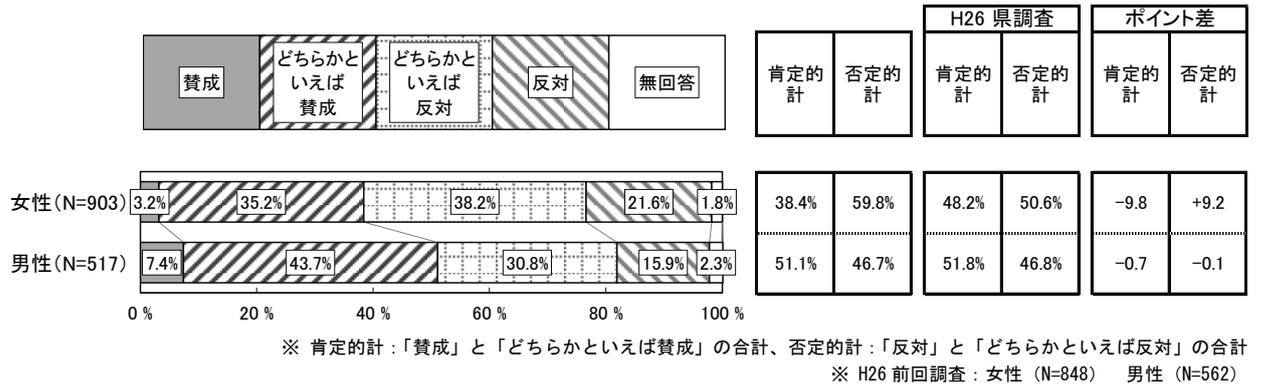
図表 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について（前回・全国比較）



※ 肯定的計：「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計、否定的計：「反対」と「どちらかといえば反対」の合計

図表 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について（男女別）

【男女別】



図表 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について（男女別・年代別）

【男女別・年代別】

